

大学入学共通テスト試行調査 2018.11

倫理

全体概要

| | | | | | |
|------|-----------------------------|----|------------------------------------|-----|-----|
| 制限時間 | 60分 | 配点 | 100点 | 大問数 | 4大問 |
| 出題分野 | 青年期、源流思想、日本思想、西洋近代思想、現代の諸問題 | | | | |
| 難易度 | ※対現行センター試験 | | やや難 | | |
| 解答形式 | マーク式 | | | | |
| 主な特徴 | ※対現行センター試験 | | 複数の図表や画像を総合的な知識を用いて分析する能力が中心に問われる。 | | |

全体出題傾向

◆習得された知識が問題を分析するときに活用できるかを問う

これまでのセンター試験では、記憶力の優れている人が点数を取りやすかった傾向にあったが、「共通テスト」では、習得した知識を用いて与えられた図表や画像を分析する能力がないと得点できない問題になっている。つまり、学習によって獲得された知識が問題解決のために活用することのできるまで昇華されているかどうか問われる問題になっている。

対策

◆暗記力に頼った学習をやめ、内容を理解することに重点を置く学習を行う

この試験問題を解くにあたり、単純な形式で暗記された情報 (Information) を活用できる知性 (Intelligence) に発展させておく必要がある。そのためには、学習の際にそれぞれの学習分野の全体像がどのようになっているのかに注目しておきたい。さらに、センター試験よりも格段に多い情報量が与えられたうえでの分析が要求されるので、早くて正確な情報処理能力が求められる。この力は同類の問題演習を繰り返し行うことにより習得される。

大問別コメント

第1問

- A 19世紀の欧州で描かれた「人生の階段図」という絵画資料2枚を用いて、自己の発達や現代における倫理的諸課題について考察させる問題。
- B アリストテレスの『ニコマコス倫理学』の徳や技術についての理解と倫理的な知識を用いて倫理的諸課題について思考させる問題。
- C 倫理的諸課題について示した板書の画像を示して、倫理的諸課題について考察させ、考察した過程や結果についてまとめる能力を問う問題。

第2問

- A 「那智滝図」と「胎蔵界曼荼羅」の画像や現代日本人の宗教に関するアンケート結果から日本人の宗教観を読み取らせる問題。
- B 僧侶が坐禅を組んでいる写真を使い、道元に関して問う問題。林羅山の主張の引用文を用いて朱子学に関して問う問題。和辻哲郎の『倫理学』からの引用文の内容を読み取らせる問題。

第3問

- A 「自己のあり方を考える」というレポート課題のガイダンス文とともにピコの『人間の尊厳について』の引用文を示し、さらに、デュシャン、ジェリコ、モネの絵画の画像を示して現代に生きる人間の倫理について問う問題。
- B 「自己のあり方を考える」についての生徒のレポートが示され、それを題材にしてロックやデカルトやヤスパースの思想について問う問題。
- C アーレントの労働に関する思想についてまとめたレポートを題材にして、労働に関する思想について問う問題。

第4問

- A 課題探究の準備段階でとられた生徒のロックに関するメモを題材にして、ロックの思想と生命倫理について問う問題。
- B 課題探究の成果発表にむけて書かれた原稿を示し、「近代的な身体観」、「科学技術と倫理」、「生命倫理」、「環境倫理」などについて問う問題。